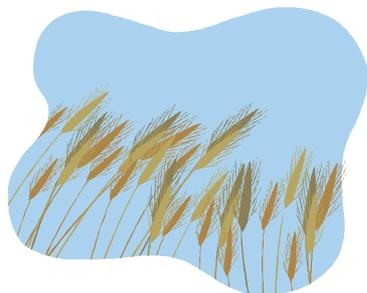


広島市立大学附属図書館報

知 恵 の 樹

growing in OZUKA

特集 イサム・ノグチと周辺の人々



LOOK HERE!でもお知らせしているように、市立図書館との連携がスタートしました。

12月には市立図書館との共催事業として市立中央図書館で展示会「イサム・ノグチとヒロシマ(仮題)」を開催します。

これにさきがけ、今回はイサム・ノグチと彼と関係のあった人々に関する資料を集めてみました。芸術資料館で開催される「萬来舎から学ぶ 広島の芸術と都市計画」に関連する資料も併せてご紹介します。

おすすめの本などで事前にチェックしておいて、イベントに参加しませんか!

LOOK HERE!

返却忘れはありませんか?

夏休みの特別貸出期間に借りた図書の返却期限は10月8日(水)です。返却期限を過ぎた資料が1冊でもあると、新たな資料の貸出ができなくなります。必要なときに「借りられない!」ということのないよう、今一度確認しましょう。

市立図書館の本が市立大学附属図書館で利用できます!

2008年9月から市立図書館との連携事業を開始しました。メールカーを利用した資料の相互貸借をはじめ、講演会や展示会などの共催事業を行います。

週1回、メールカーで市立図書館の本を取り寄せ、附属図書館カウンターで貸し出します。

小説、趣味の本、実用書などが利用できますので、是非ご活用ください。

貸出冊数 5冊まで(通常の貸出冊数に含めます。)

貸出期間 2週間

利用対象者 本学の学生・教職員

利用方法 附属図書館カウンターでお申し込みください。

雑誌・まんが・事典類等取り寄せられないものもあります。

詳しくはカウンター職員にお尋ねください。




特集
イサム・ノグチと周辺の人々


イサム・ノグチ [Isamu Noguchi] (1904 - 1988)

彫刻家。アメリカ・ロサンゼルス生まれ。

詩人の野口米次郎、作家のレオニー・ギルモアを両親として生まれる。1906年家族とともに東京に移住。1918年単身渡米しコロンビア大医学部で学ぶが、彫刻に転向。1924年ニューヨークのレオナルド・ダ・ヴィンチ・スクールに学ぶ。1927年グッゲンハイム奨学金を得て渡仏、パリでコンスタンティン・ブランクーシに師事。1930-31年中国と日本に滞在し、書、造園、陶芸を学んだ。1946年ニューヨーク近代美術館に「14人のアメリカ人展」の1人として選ばれる。東洋的簡素さを特色とする抽象的作風で注目された。

1951年女優の山口淑子と結婚（-56年）。日本滞在中に慶應義塾大学の庭園、1952年広島市の平和大橋・西平和大橋の設計を行った。この他にパリのユネスコ本部の庭園、1970年大阪万博の噴水彫刻のデザインなど庭園やモニュメント彫刻の仕事を数多くする。家具デザインや舞台美術なども手がけ、「あかり (Akari)」シリーズが有名。晩年は香川県牟礼町のアトリエを拠点にして幅広い制作を続けた。

図書

- 『ある彫刻家の世界』 イサム・ノグチ著, 美術出版社, 1968年 [712.53 ㍿ 3F]
- 『イサム・ノグチ：宿命の越境者 上・下』 ドウス昌代著, 講談社, 2000年 [712.53 ㍿ 1,2 3F]
- 『評伝イサム・ノグチ』 ドーレ・アシュトン著, 白水社, 1997年 [712.53 ㍿ 3F]
- 『イサム・ノグチの世界』 綿引幸造著, ぎょうせい, 1998年 [712.53 ㍿ 3F]
- 『Isamu Noguchi, space of akari & stone』 Chronicle Books, 1986年 [702.16NO 2F]
- 『The Isamu Noguchi Garden Museum』 by Isamu Noguchi, H.N. Abrams, 1987年 [712.53NO 2F]

DVD

『イサム・ノグチ』 ヒロ・ナリタ監督・撮影, IMAGICA, 1997年 *このDVDをご覧になりたい方は図書館カウンターにお申し込みください。

たにくちよしろう

谷口吉郎 (1904 - 1979)

建築家。石川県金沢市生まれ。日本の伝統文化を深く洗練させた平明・清爽な作風を特色とする。1973年に文化勲章受章。主な作品に、藤村記念堂（1947年）、東宮御所（1960年、現・赤坂御所）、東京国立博物館東洋館（1968年）、東京国立近代美術館（1969年）などがある。

1951年、イサム・ノグチと共に、慶應義塾大学第二研究室「萬来舎（ばんらいしゃ）」を手がけた。その談話室「ノグチ・ルーム」は、イサム・ノグチの初期の代表作で、戦後の日本のモダニズム建築の傑作とされているが、2003年に惜しまれつつ解体された。

図書

- 『萬来舎：谷口吉郎とイサム・ノグチの協奏詩』 杉山真紀子編, 鹿島出版会, 2006年 [523.13 スキ 3F]
- 『記憶としての建築空間：イサム・ノグチ 谷口吉郎 慶應義塾』
慶應義塾大学アート・センター編集, 慶應義塾アート・センター, 2005年 [712.53 ケイ 2F]

雑誌記事

- 杉山真紀子「谷口吉郎とイサム・ノグチの共同設計 慶應大「萬来舎・ノグチ・ルーム」解体をめぐる - 福澤の理想を再現した貴重な文化遺産」『月刊美術』Vol.29, No.3(2003.3) pp. 140 ~ 143
- 『保存を考える(01)谷口吉郎とイサム・ノグチ, 分かちがたいコラボレーションの行方』『新建築』Vol.78, No.3 (2003.3) pp. 186 ~ 189
- 『谷口吉郎、イサム・ノグチのコラボレーションによる室内空間 慶應義塾大学第二研究室 万来舎 (1951年)』『建築文化』Vol.58, No.665 (2003.6) pp. 56 ~ 59

[]の中は請求記号と配架場所です。

たんげけんぞう

丹下健三 (1913 ~ 2005)

建築家。大阪府堺市生まれ。ル・コルビュジェに刺激され建築家を志し、東京帝国大学工学部に学ぶ。旧制広島高等学校（現広島大学）に学んだ縁もあり、広島市の都市計画に関わる。1949年広島平和記念公園の設計のコンペティションで見事一位となり、広島平和記念資料館等の設計を行った。代表作に国立代々木競技場、新東京都庁舎、クウェート国際空港などがある。

図書

『丹下健三』SD編集部編, 鹿島出版会, 1980年 [520.87ノ 3F]

雑誌

磯崎新「特別記事 全身での身の任せきり - - 丹下健三の日本」『新建築』Vol.80, No.8(2005.7) pp. 91 ~ 100

やまくちよしこ

山口淑子 (1920 -)

映画女優・歌手。日本人だが、中国人女優の李香蘭として、1938年満洲映画協会（満映）からデビュー、映画や歌で一世を風靡した。戦後は山口淑子の名で活動、一時期イサム・ノグチと結婚していた。広島を共に訪れたこともある。1974年参議院に当選した後、政治の場でも活躍した。

図書

『李香蘭私の半生』山口淑子, 藤原作弥著, 新潮社, 1990年 [778.21 ヤマ 3F]

『「李香蘭」を生きて：私の履歴書』山口淑子著, 日本経済新聞社, 2004年 [778.21 ヤマ 3F]

フリーダ・カーロ [Frida Kahlo] (1907 - 1954)

メキシコの女流画家。シュルレアリスト。20歳で画家を志し、世界的壁画家ディエゴ・リベラにその才能を認められ、結婚。しかし、リベラの女性関係や18歳の時の事故の後遺症に伴う流産などが重なり、28歳で別居。この時期にイサム・ノグチも彼女の才能に魅了され、交際を持った。生涯を通して、リベラへの愛と苦悩、事故の後遺症など、自身の人生を写した自画像を多く描いた。

図書

『フリーダ・カーロ 太陽を切りとった画家』ローダ・ジャミ著, 河出書房新社, 1991年 [723.56 カ 3F]

『フリーダ・カーロのざわめき』森村泰昌, 藤森照信, 芸術新潮編集部著, 新潮社, 2007年 [723.56 カ 3F]

催しのご案内**展示会**

「イサム・ノグチとその周辺の人々」

附属図書館 展示コーナー（平成20年10月6日（月）～12月19日（金））

「イサム・ノグチとヒロシマ（仮題）」

広島市立中央図書館（中区基町3番1号）展示ホール（平成20年12月10日（水）～28日（日））

「萬来舎から学ぶ 広島芸術と都市計画」

広島市立大学芸術資料館（平成20年12月8日（月）～21日（日））

講演会

「イサム・ノグチとヒロシマ（仮題）」

日時：平成20年12月20日（土）14時～15時

講師：本学芸術学部教授ほか

会場：広島市立中央図書館（中区基町3番1号）3階セミナー室

シンポジウム

「イサムノグチと谷口吉郎から学ぶもの 広島芸術と都市計画を考える」

日時：平成20年12月13日（土）14時～17時

会場：広島市立大学 講堂小ホール

わたしの一冊 

情報科学部 竹澤寿幸 教授

『Googleを支える技術: 巨大システムの内側の世界』

西田圭介著 技術評論社 2008年

人間が話した言葉を自動的に他の言語に翻訳する技術を音声翻訳と呼びます。約20年前は人間が文法を習うように規則の形でコンピュータに覚えさせれば音声翻訳が実現できると考えられていました。しかし、規則では扱いきれない例外的な翻訳パターンが決してなくなりません。そこで、大量・大規模な音声言語データを集めて、統計的な特徴をコンピュータに覚えさせるという原理を採用することで、ようやく最近になって実用レベルとなりました。大量・大規模といえば、現在のインターネットは世界中のコンピュータがつながった巨大システムです。そこから役に立つ情報を見つける検索エンジンは既に生活になくてはならないものとなっています。そのような検索エンジンの一つである Google を取り上げ、そのサービスがどのようにして作られているかについて、情報科学系の大学3年生程度の予備知識があれば理解できるように本書は書かれています。情報科学系以外であっても、第3章と第4章の技術の詳細に関する記述を除けば、第1章と第2章の基礎的な説明、および、第5章と第6章の運用コストや開発体制の話は多くの人に理解できるでしょう。ところで、音声翻訳が実用レベルとなったからといって、外国語の勉強をしなくてよいことにはなりません。同様に、インターネットと Google があれば図書館が要らないことにもなりません。学生時代にいろいろな本を読んでください。

この本は図書館3階にあります。ご利用ください。 <請求記号 007.5 ニシ>

図書館カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

開館日と開館時間のお知らせ

は休館日です。

通常開館期間
8：45～19：00

冬季休業期間(部分)
12月24日(水)～1月7日(水)
8：45～17：00

延長開館期間(部分)
1月22日(木)～2月12日(月)
8：45～20：00

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

編集後記

夏休み中に、洋雑誌のバックナンバーの移動を行いました。これまでは、洋雑誌のバックナンバーは1階と2階とに分かれていましたが、全て1階にまとめ、利用しやすくなりました。
2階では、引き続き、資料が利用しやすいよう整理・移動作業を行っています。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

2008年10月1日発行
 広島市立大学附属図書館
 広島市安佐南区大塚東3-4-1
 TEL : (082) 830-1508
 FAX : (082) 830-1659
 E-mail tosho@lib.hiroshima-cu.ac.jp
 http://www2.lib.hiroshima-cu.ac.jp